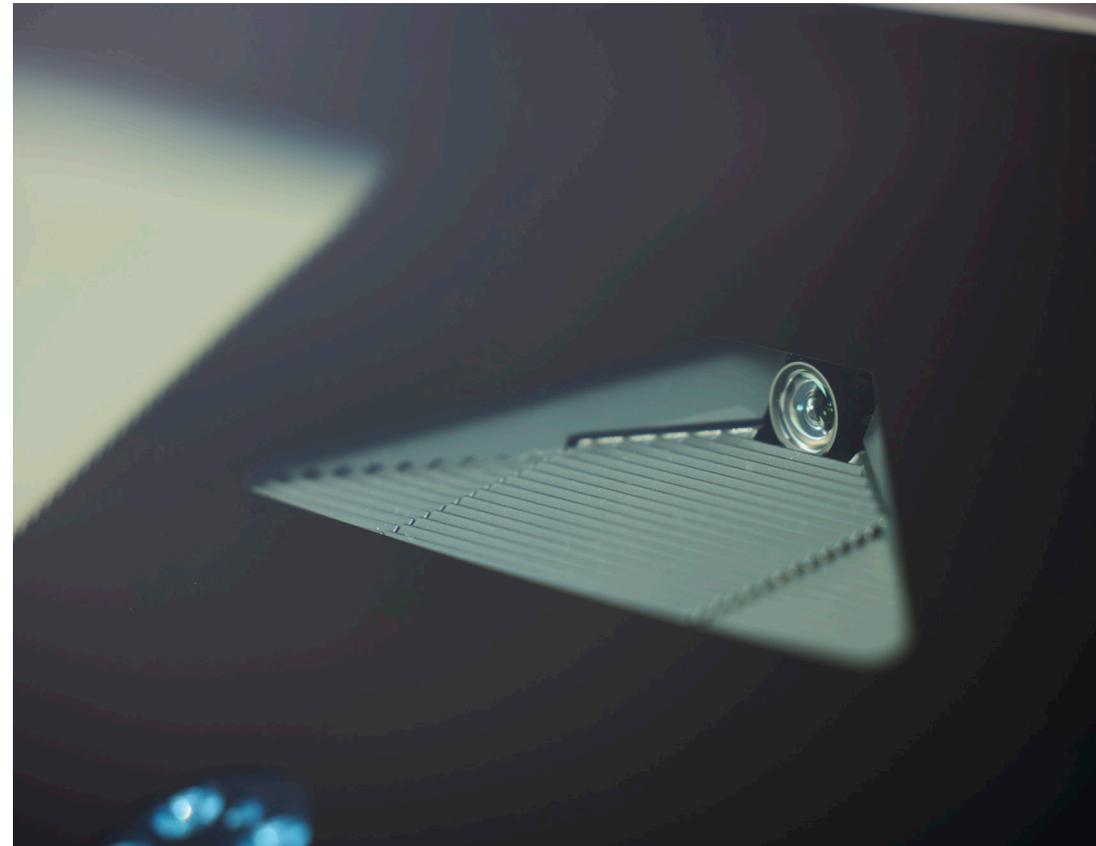


Hondaは、「Safety for Everyone」をグローバルスローガンに掲げ、クルマやバイクに乗っている人だけではなく、道を使うだれもが安全でいられる「事故に遭わない社会」の実現をめざしています。そしてさらには、「人を守る」だけではなく、人や社会をつなぐ原動力とも言える人間の「好奇心」を後押しし、移動の喜びを拡げていきたいと考えています。

そうした理念のもと、さまざまな機能を統合した安全運転支援システム「Honda SENSING」を開発し、標準装備化を推進。こんにちでは、国内新車販売台数[※]の95パーセント以上にまで適用率を高めました。

一方、万一の事故に対しては、自車乗員はもちろん、相手車両の乗員や歩行者への衝撃に配慮した技術を積極的に採用。NCAPなど第三者機関のテストでも高い評価を獲得し続けています。

グローバルモデルである新型シビックももちろん、優れた衝突安全性能を当たり前として備えただけで、新たな機能を加えた最新の「Honda SENSING」を搭載。大きな安心・安全とともに移動の喜びを支援します。



※ 普通乗用車と軽自動車の合計。